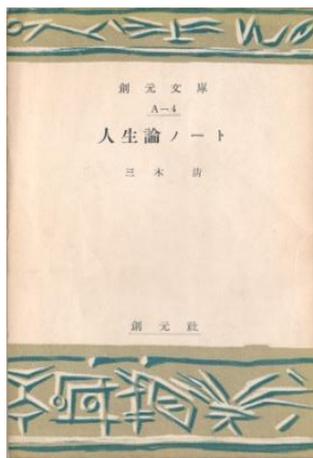


鹿沼の自然・栃木の旅

月報第 1 号

(2012 年 4 月)



旅においてはあらゆるものが既知であるということはありません。なぜなら、そこでは単に到着点或いは結果が問題であるのではなく、むしろ過程が主要なものであるから。途中で注意している者は必ず何か新しいこと、思い設けぬことに出会うものである。(中略)旅の利益は単に全く見たことのない物を初めて見ることにあるのではなく、一全く新しいといい得るものが世の中にあるであろうか—むしろ平素自明のもの、既知のもののように考えていたものに驚異を感じ、新たに見直すところにある。 三木 清著「人生論ノート」より～旅について～

北光クラブ
自然観察クラブ

春の自然観察ハイキング
～見野橋より黒川に沿って川化橋へ～
4月15日(日) 天気・晴れ

案内 自然観察クラブは今年も「出かけること」に意を用い、身近な野原や川を歩き、山や、時にはその麓にある神社やお寺をめぐり、あたりまえのようにある郷土の自然にふれ、歴史をのぞいてみたいと思います。

今年度の最初の計画は、見笹橋から川化橋までの黒川沿いの自然観察です。昨年は見野橋から歩きましたが、今年は大幅に行程を短縮して鹿沼学舎の皆さんと一緒に歩きます。正午に解散の予定ですが、本会は用水路付近でお弁当を食べ、午後1時頃まで川遊びしたいと思います。今年は春の訪れが遅く、昨年は花期を過ぎて葉だけが残っていたあの植物が、赤紫色の花をもたげているかもしれません。

新1年生の皆さんもふるってご参加ください。

報告 千手山で記録的な花見の人出となったこの日、私たちは鹿沼学舎・自然部会の皆さんと共に、見笹橋から下遠部橋まで、黒川に沿った道を歩きながら、野草のお花見を楽しんできました。

前半は田んぼ道で、ホトケノザ(しそ科)や春の七草で言うホトケノザ(きく科、コオニタビラコ)、ナズナやタネツケバナ(共に白い花)、イヌナズナ(黄色い花)などが見られ、後半は山際に沿った道でキクザキイチゲ、ニリンソウ、エイザンスミレ等が見られました。今回は山口龍治氏が参加され、ミヤマセセリ等の昆虫の他、ウスタビガ、ヤマユガ、クスサン等のガのぬけがら、食べられるキノコ・アミガサタケやムクロジの大木を発見してくださいました。

用水路では恒例の水の生き物観察が始まり、少なくとも3種類のヤゴ、カワニナ、魚類ではニガンメ(アブラハヤ)、ババスッコ(ホトケドジョウ)、両生類ではヤマアカガエル、ツチガエル、アマガエルが見られました。

そうそう、見笹橋付近の土手に植えられたソメイヨシノも見頃でしたよ。

(北光クラブNEWS・No.114掲載)

※ 開花していた植物

なでしこ科	ウシハコベ	すみれ科	タチツボスミレ
きんぽうげ科	キクザキイチゲ		シハイスミレ
	ニリンソウ		エイザンスミレ
くすのき科	アブラチャン	きぶし科	キブシ
あぶらな科	タネツケバナ	しそ科	カキドオシ
	ナズナ		ヒメオドリコソウ
	イヌナズナ		ホトケノザ
ゆきのした科	ヤマネコノメソウ	ごまのはぐさ科	オオイヌノフグリ
ばら科	モミジイチゴ	きく科	コオニタビラコ
かえで科	ウリカエデ		セイヨウタンポポ
つばき科	ヒサカキ	ゆり科	カタクリ

※ 注目すべき樹木 ムクロジ

※ 観察したキノコ アミガサタケ(右図→)

※ 観察した昆虫 モンシロチョウ、モンキチョウ、
ミヤマセセリ

※ ガのぬけがら クスサン、ウスタビガ、ヤママユガ

※ 観察した水生生物 カワニナ、ホトケドジョウ、ドジョウ、アブラハヤ、
タモロコ、ヤマアカガエル、ツチガエル、アマガエル

※ 出た鳥 アオサギ

※ 参加者 亀山勝義・千尋・優希・義宗、阿部良司・みゆき・瑞穂、
石崎裕子・隆史、小嶋美穂、山口龍治、
鹿沼学舎 9 名(計 20 名)



「牧野図鑑」より

※ 参加者からいただいたお手紙(一部省略)

風邪でちょっと無理かなと思いつつも、今日という同じ日は二度と来ないと意を決して参加して大正解でした。風邪なんて何のその楽しかったです。

カタクリとエイザンスミレ、一輪草がひっそりと咲いているのがいいですね。知らなかった植物の名前をたくさん教えていただき得たと思います。

足元の枯葉の中からヤママユを見つけた時の何とうれしかったこと! 子どもの頃、山歩きの好きな父がヤママユを取ってくれたのですが、あの時のあの鮮やかな緑色は今でも忘れないでいましたから。機会があったら、あの時のような抜けがらでない本物を見つけに行ってみたいものです。

ムクロジの実、はじめて見ました。実生で発芽するか挑戦してみます。

(櫻井節子)

下遠部は知り合いの出身地という事もあり関心がありましたが、なかなか出向く機会もなかったので良いタイミングでした。黒川も府中橋のあたりも私の子供の頃は石ころ、砂地で夏の川遊びが楽しかった。いつの頃かコンクリートの大きな用水路みたいな川になって、あの川を知っている人も少なくなってしまったと(自分が年をとったのです)センチになったりしていましたが、懐かしい風景に出合えてうれしかったです。

虫や蝶、植物の解説もわかり易かったし、資料もお骨折りました。長年の疑問も目からうろこです。会員の皆様も良い方ばかりで、楽しい時間をありがとうございました。

(菊地節子)

久しぶりに家族揃って歩きました。鹿沼市内の場所には良い場所があるので、是非近くておもしろいところをまた希望します。花や動植物に詳しい人達といくので、何でもない場所がとても良い場所に思えます。子供たちは、やはり

No.1 川遊び《魚・ヤゴ・かえる獲り》 No.2 チョウチョ獲り No.3 お弁当

(亀山千尋)

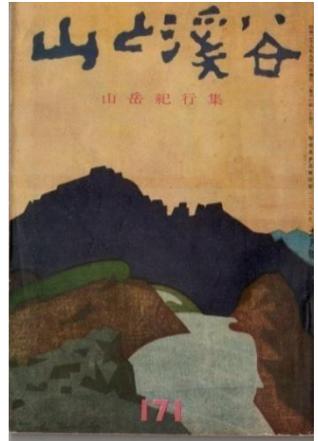
4月15日の春の自然観察ハイキングは、桜も満開で天候も良く楽しく参加できました。普通に歩いていると見落としてしまうような所にも、様々な植物を発見し、とても有意義な観察会でした。

(小嶋美穂)

薬師岳～夕日岳ハイキング
～禅頂行者道を歩く～

禅頂行者道は、勝道上人が出流山から大剣峰（横根山）を経て古峰ヶ原に至り日光へ向かった道筋に当たり、古くから山岳修験道の行者道として歩かれ、現在もその跡を各所でしのぶことができます。

そんな歴史のある山域であり、夕日岳は 1,500 mの標高を持ちながら世に紹介されることは少なく、昭和5年創刊の雑誌「山と溪谷」でも171号（昭和28年9月号・右の写真）で初めて矢島市郎氏によって案内が書かれています。それによると、「この尾根道は素晴らしい展望道路で、男躰、大眞名子、小眞名子、女峰、赤薙の日光表連峯から皇海、庚申、袈裟丸等が眺められ、木は割に低くこの展望を遮らず楽しい事限りない。……」



新緑の季節、というよりこの一帯はまだ芽吹き季節かもしれませんが、そろそろオオカメノキの白い大きな花が咲き始めているかもしれません。登りゆく春を追って出かけてみませんか。

○行 程：細尾峠（55分）薬師岳（90分）三ツ目（15分）夕日岳 _____ 三ツ目
_____ 南の肩 _____ 細尾峠

○日 時：5月13日（日）AM6：00 北小西門内集合

○服 装：長袖シャツ、長ズボン、軽登山靴または運動靴、帽子、防寒着

○持ち物：リュックサック、水筒（ポット）、お弁当、おやつ、筆記用具、
雨具（必携）、レジャーシート、レジ袋、ハンカチ、ちり紙

○あればお持ち下さい：カメラ、図鑑、双眼鏡、

1/25,000 地形図は「古峰ヶ原、日光南部」

○参加費：おとな400円、子ども200円

○問合せ：自然観察クラブ（090-1884-3774 阿部）

☺ その次の予告 ☺

6月17日(日) 日光(中宮祠～茶ノ木平～半月山)ハイキング

特別寄稿

私流・旅の楽しみ方

県外からの依頼で北光クラブの事例発表にでかける様になってから、旅は、ただ行くだけの旅でなくなっている自分に気づきました。今までは有名な場所に行って、建造物や資料を見て帰ることで満足している自分がいきました。

ところが今は、何気なく入ったお店で地元の名物を食べ、何となく会話を聞き、自然に会話の仲間入りをすることで、その土地の風土や歴史やそこに暮らす人たちの生活を感じることが出来ます・・・これが旅の楽しみ方のような気がしてきました・・・まさに私流、旅の楽しみ方です。逆もなり得ることもありますね。何かを求めて旅をしている人と、出逢うかも知れません。その時は自分もそうしてもらえた様に、そうできる自分でありたいと思っています。

近くにいても話したことのない、ただ通り過ぎるだけの人も沢山いる中で、私たちは何気なく出逢いを求め、旅をしています。そこから生まれる知識や感動は宝となって人としての成長へと導いてくれています。

これからも求め続けたいと思っています。更なる成長へと自分を導いていけるように。
(渡邊 真知子・北光クラブ代表)

鹿沼の自然・栃木の旅 月報第1号

2012年4月30日発行(修正版)

北光・自然観察クラブ

鹿沼市上田町 1923

発行人 阿部 良司

年会費 1200円



携帯メール希望の方はこちらへ→shizenclub.2006@docomo.ne.jp